

基本調査 基本調査 解析方法 行動パターン調査と線量率マップ

行動パターン調査

福島県県民健康調査の問診票より
行動パターンを調査

調査対象期間

2011年3月11日～7月11日の4か月間

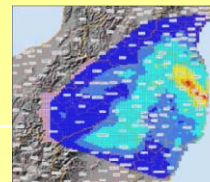
調査項目

- 滞在（場所、時間、建物の造り）
- 移動（場所、時間）

区分 月日	滞在 場所	時 刻												地名・施設名
		0	3	6	9	12	15	18	21	24				
記 入 例	屋内	①			④						④			① 自宅 ② 自宅の畑 ③ 車内 ④ 避難所 (○○市××中学校)☉ ⑤ ○○市××町字△△
	移動	③												
	屋外	②(80分)						⑤(120分)						

線量率マップ

SPEEDIと文部科学省データから
一日平均の実効線量率マップを作成



3月12日～14日

SPEEDIの評価結果
(実効線量率)

3月15日以降

文部科学省（当時）公表
のモニタリングデータ
(周辺線量当量率)

周辺線量当量率に0.6を乗じて
実効線量率に換算

2km×2kmのメッシュに区分け
離散データをソフトで内挿しマップ化
※自然放射線の値を含まない。

積算実効線量計算

行動パターン及び線量率マップから実効線量を評価